

ことばをながめる、 ことばとあるく

詩と歌のある風景

2018
8/7
Tue.-
10/21
Sun.

出品作家

詩×グラフィック

最果タヒ

佐々木俊

祖父江慎

服部一成

展覧会

空間構成

豊嶋秀樹

ヴィジュアルデザイン

平野篤史

詩×絵画

管啓次郎

佐々木愛

短歌×イラストレーション

大槻三好・松枝

惣田紗希

太田市

美術館・図書館

ART MUSEUM & LIBRARY,

OTA

開催時間：午前10時～午後6時（展示室への入場は午後5時30分まで）

休館日：月曜日（ただし、9月17日、24日、10月8日は祝休日のため開館し、翌日火曜日休館）

主催：太田市、一般財団法人太田市文化スポーツ振興財団

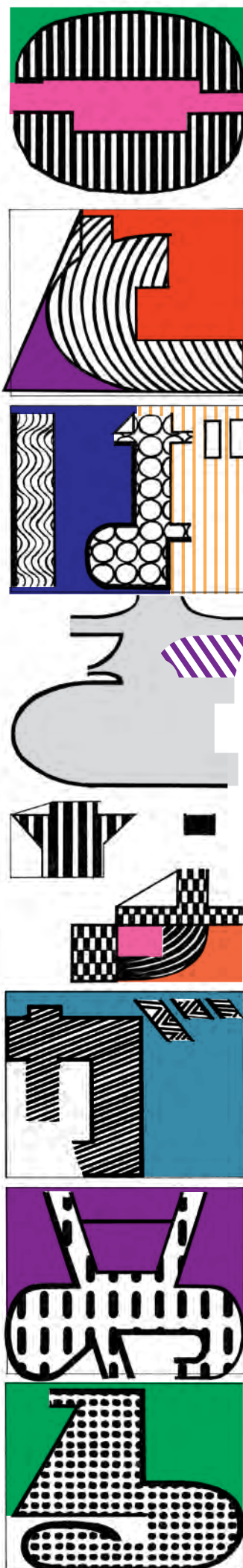
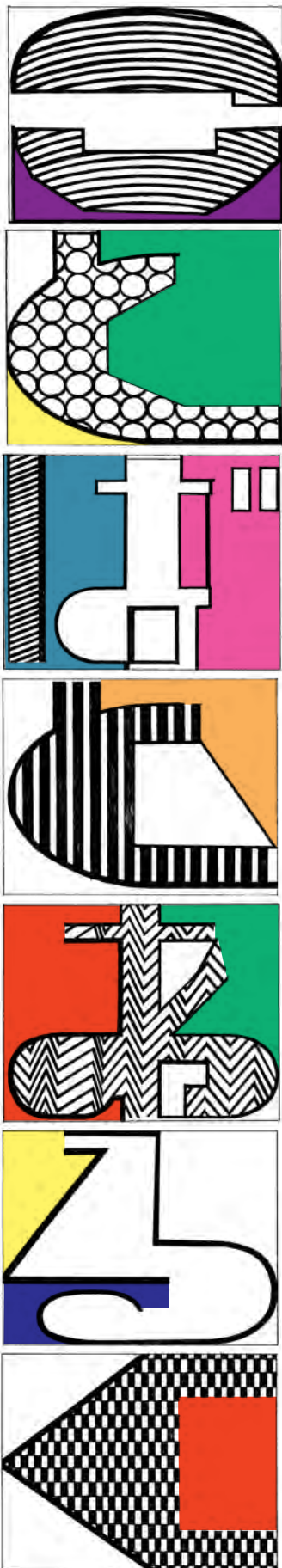
協力：株式会社リトルモア、東武鉄道株式会社、モエレ沼公園、リキテックス

後援：太田市教育委員会、太田商工会議所、群馬テレビ、株式会社 エフエム群馬、

エフエム太郎、NHK前橋放送局、上毛新聞社、朝日新聞社前橋総局、

産経新聞前橋支局、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、

光ネット株式会社



詩と歌の
ある風景

「ことばをながめる、ことばとあるく——詩と歌のある風景」は、美術館と図書館の複合施設である太田市美術館・図書館が「本」と「美術」の架橋を目指して実施する〈本と美術の展覧会〉第2弾として開催するものです。今回のテーマは詩と歌（短歌）。画家が絵具を素材とするように、言葉を用いて表現・思考の新たな地平を切り開く詩人・歌人たちの作品が、グラフィックデザイナー・画家・イラストレーターたちとの共同によって、当館の展示空間に展開されます。

『死んでしまう系のぼくらに』をはじめとする詩集や小説、エッセイのほか、ウェブでのアニメやゲーム、アプリなど、その繊細かつ鮮烈な言葉を本だけにかぎらず多面的に展開する気鋭の詩人・最果タビ。その詩を、これまで、最果の著書の装丁を手がけた佐々木俊、祖父江慎、そして雑誌『真夜中』誌面でアートディレクションを担った服部一成という三人のグラフィックデザイナーが、それぞれ異なる解釈とアプローチによってグラフィックで表現します[1. 詩×グラフィック]。地形・気象・旅による意識の変容を主題として、現代文学・思想・芸術と領域横断的な仕事を一貫して続けてきた詩人・管啓次郎とタッグを組むのは、神話や物語も含めた人々の記憶や風景を手がかりに絵画やインスタレーションを制作している美術作家・佐々木愛。2009年以来、管と佐々木が行なっている「WALKING」と題したプロジェクトは、その名の通り二人が各地を「歩く」ことによって生まれた詩と絵画の合作であり、本展ではこれまでの成果を、太田の散策も経て制作された新作とともに展示します[2. 詩×絵画]。こうした当館での言葉の表現への注目は、当地で詩や短歌などの表現者が戦前から戦後にかけて生まれていることによります。ともに歌人であり、のちに生涯の伴侶となった大槻三好・松枝夫妻の仕事を、シンプルな線描と色彩で印象的な少女や風景を描き出すイラストレーター・惣田紗希の、太田の風景をモチーフにした描き下ろしの壁画とともにご紹介します[3. 短歌×イラストレーション]。本とは別の居場所を得た詩や歌は、はたしてどのような姿でわたしたちの目の前にあらわれるのでしょうか。そしてそれは詩や歌を「読む」という行為に、どのような変化をもたらすのでしょうか。本展では、鑑賞者が美術館という空間のなかにおける言葉を眺め、それらの言葉とともに歩き、さまざまな視覚表現とともに鑑賞することで、詩と歌の新たな鑑賞体験の獲得を目指します。

関連イベント

- (1) 鼎談：詩とグラフィックデザイン
出演：佐々木俊、祖父江慎、服部一成
日時：2018年9月1日（土）午後2時～3時30分（1時30分開場）
会場：当館3階視聴覚ホール
定員：100名
- (2) 対談：歩けば見つかるもの
出演：管啓次郎、佐々木愛
日時：2018年9月8日（土）午後2時～3時30分（1時30分開場）
会場：当館3階視聴覚ホール
定員：100名
- (3) 遠足：金山城跡散策
講師：管啓次郎、佐々木愛、新井高子（ゲスト／詩人）
日時：2018年10月6日（土）午前10時15分～午後3時
会場：太田市内（当館～金山城跡往復：往復6km）
定員：10名
- (4) 朗読会：歩いて見つかったもの
出演：管啓次郎、新井高子（ゲスト／詩人）
日時：2018年10月6日（土）午後4時～5時
会場：当館3階視聴覚ホール
定員：100名
- (5) ギャラリートーク
講師：担当学芸員
日時：2018年8月25日（土）、9月22日（土）、10月20日（土）
午後2時～3時
会場：展覧会場
定員：なし
- (6) こども鑑賞ツアー
講師：担当学芸員
日時：2018年9月2日（日）、10月7日（日）午後1時30分～2時15分
会場：展覧会場
定員：なし

参加費・申込方法等の詳細はHPでお知らせいたします。



観覧料：一般500(400)円 ※()内は、20名以上の団体及び太田市美術館・図書館カード、ふらっと両毛東武フリーパスをお持ちの方。65歳以上、高校生以下、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の交付者及びその付添人1人は無料。おた家庭の日(毎月第1日曜日)は中学生以下の子ども同伴の家族無料。

アクセス：〒373-0026 群馬県太田市東本町16番地30
東武伊勢崎線太田駅北口から徒歩1分。
駐車場に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。市役所駐車場は3時間まで無料でご利用いただけます。
お問い合わせ：太田市美術館・図書館
Tel.0276-55-3036
<http://www.artmuseumlibraryota.jp/>



最果タビ『死んでしまう系のぼくらに』リトルモア、2014年9月
「参考作品」佐々木俊『窮而変々而通』2017年、撮影：小林志翔
「参考作品」祖父江慎『部屋本坊』2007年
「参考作品」服部一成『CAKE』2007年
管啓次郎『無題「Walking」より』2011年
佐々木愛『詩のための絵「Walking」より』2011年
「参考作品」惣田紗希『SEASONS・SUMMER』2016年

